

<今朝の聖書から>

【ティベリウス】ローマ皇帝ティベリウスの治世の第十五年と書きはじめられています。細かなきちんとした説明になっています。祭司的ではなく預言者の“公現”として、旧約聖書の表現を用い“ザカリヤの子ヨハネに降った(3:2)”と記録されています。この第十五年ですが、単独に即位した年14年から数えることで、28か29年のことになります。

【総督】この総督というのは、シリア州総督配下の第三級元首属州ユダヤの地方総督のことになり、ローマ騎士階級の中流の官位になります。また州総督は元老院議会のほぼ最高の位にもなります。

【ヘロデ】ヘロデ大王(15年)の息子ヘロデ・アンティパスがガリラヤとペレヤの国主であったのは、BC4~39年に当たります。

【ピラト】使徒信条に出て来るピラトは、その兄弟になり、イツリヤとテラコンの国主であったのは34年になります。

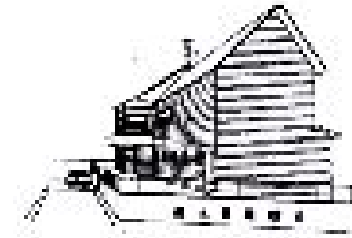
【リサニヤ】この名も出てきます。BC40年に、北アフリカのカルキスに首都をおいたプトレマイオスの後を継いだ家系の名のこと、ティベリウスの治世下にこの名の領主がいたとされる。

【アンナスとカイアフア(カヤバ)】3:2節では、背景を祭司の歴史から説明しています。アンナスが大祭司出会ったのは6~15年でしたが、ローマによって退職させられ、その養子カイアフアが大祭司となったが、人々はアンナスを深く認め、実権もまた持っていたようです(18~35年)。そのためルカは二人の名前を併記したのでしょう。主の働きの方は、今に至るまでこんな世界でした。

【曲がった道はまっすぐに】イザヤ書の預言の言葉が成就したことを説明しています。“曲がった道”、“でこぼこの道”という言葉がぴったりするような社会状態だったでしょう。政治的には、ローマ帝国との関係、宗教的には、形骸化した決めごとと遵守のユダヤ教指導者が、世襲的に祭司の職をもてあそび、政治的権力をも持っていたという訳です。人々の魂も可能性を見失い、暗さに暗さを増していたことが分かります。4~6節で、イザヤの言葉が紹介されます。“谷はすべて身を起し、山と丘は身を低くせよ。険しい道は平らに、狭い道は広い谷となれ。主の栄光がこうして現れるのを肉なる者は共に見る。主の口がこう宣言される(イザヤ書40:4~5)。”これが“古い言葉がリフレッシュされる”中身なのでした。そして人々にもよく分かりました。私たちも、信仰者なら誰でも知っている、主イエス誕生の次第をこのクリスマスに思い出すべきなのです。思い出に置き換えてしまった悲しみはないでしょうか。あの時私たちが救われたのは、苦痛からだったのです。“教会は初めて”という方は“私たちが救われなければならないこと”を知るのです。楽しさだけがあるということはありません。ゆずりること(14節)は恵みを得るためには無用なのです。家柄が良く学歴のあることは、誇った時に、道をでこぼこにしてしまうことになるのです。

週報

2010年 11月 7日



伝えよう 救い主を
迎えよう 主の民を

日本フリーメソジスト
清水草薙キリスト教会

牧師 村上 定幸

| | | |
|---------|---------------------------------------------------------------------|----------|
| ユース礼拝 | 毎日曜日 | 午前 9:00 |
| 礼拝式 | 毎日曜日 | 午前 10:30 |
| | (聖餐式 第一日曜日) | |
| 夕礼拝式 | 毎日曜日 | 午後 7:00 |
| エステル一会 | 毎水曜日 | 午前 10:30 |
| 聖書研究祈禱会 | 毎水曜日 | 午後 7:00 |
| ホームページ | http://kusanagi.church.jp/ | |

〒424-0885

静岡市清水区草薙杉道3丁目2-26

☎054-345-4070 E-Mail grace@big.jp

振替口座 00890-6-214042